



八中だより



令和6年10月1日 10月号
調布市立第八中学校
校長 馬場 誠

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

中学生も自然災害に向き合う力をもとう

校長 馬場 誠

10月に入りすっかり涼しくなりました。秋の空気が爽やかです。この「爽やか」という言葉、実は秋の季語だということを知っていましたか。ほかの季節でも「爽やか」を使うのは一般的になりましたが、本来は秋だけに限定された言葉。今の季節だからこそ感じられる「爽やかさ」を存分に味わいたいですね。

とはいえ、全国に目を移すと、爽やかとは言ってられない状況が起こっているのも事実です。今年の1月に大地震に襲われた石川県、さらに9月には記録的大雨に見舞われ、多くの方が苦しい生活を強いられています。8月には日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、内閣府は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。首都直下地震はいつ起きてもおかしくないとされています。

私たちは常に自然災害の危険と向き合っています。ですから、そのような災害に対処する方法を日ごろから覚えておかねばなりません。学校では計画的に避難訓練を行い、自分の身を守ることを理解したり（地震のときは物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せるなど）、集団で避難するときの行動を覚えたりしています。そのかいあって、小さな地震が起こっても、八中の生徒たちは先生に言われる前に自分から机の下にさっと潜る習慣ができていて、さすがだなと感心することがあります。日本全体が大きな災害を経験したせいか、現代の子どもたちは昔の子どもより災害に対する構えが「真剣」な印象があります。

高齢化社会の中で、中学生の存在は地域に期待されています。この10月には二つの地域で防災訓練があります。10月5日(土)には滝坂小で、27日(日)には緑ヶ丘小で開催される予定です。ぜひ中学生も参加して、地域に貢献できる技術を習得してもらいたいと思っています。ボランティアもたくさん参加する予定です。また、2年生は地域の方の協力を仰ぎながら、校舎裏に仮設トイレを作る訓練を計画しています。中学生も災害時に力を発揮できるよう頑張ってもらいたいと思っています。

♪♪♪ 合唱祭 ♪♪♪

10月8日、グリーンホールで合唱祭を催します。昨年度までは合唱コンクールでしたが、単に競い合う「コンクール」ではなく、広く合唱の素晴らしさをみんなで味わう行事にしたいという思いをこめて「合唱祭」と命名しました。今年も桐朋学園大学の准教授 宮本益光先生を始め声楽を学ぶ学生の皆様などをお呼びして、クラスごとにご指導をいただきました。おかげで歌声に磨きがかかり、生徒たちは意欲的に取り組んでいます。学年ごとの入れ替わりになりますが、保護者の皆様には、ぜひ会場に足を運び、生徒の頑張る姿を応援していただきたいと思います。

